



JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE

日本学術振興会

海外特別研究員の就職状況等に関する追跡調査結果について

(平成26年度実施)

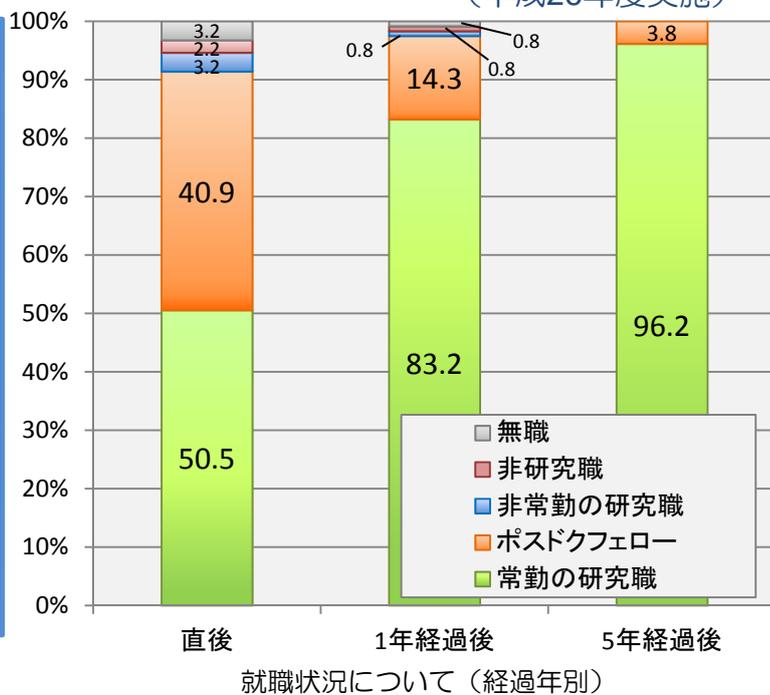
海外特別研究員の「常勤研究職」への就職状況

直後
(平成23年度採用者) : 50.5%

1年経過後
(平成22年度採用者) : 83.2%

5年経過後
(平成18年度採用者) : 96.2%

※割合は、不明者等を除いて算出



《調査結果より》

海外特別研究員は、5年経過後調査では、96.2%が「常勤の研究職」に就いており、我が国の研究者の養成・確保において重要な役割を果たしている。

海外特別研究員制度とは

我が国の学術の将来を担う国際的視野に富む有能な研究者を養成・確保するため、優れた若手研究者を海外に派遣し、特定の大学等研究機関において長期間研究に専念できるよう支援する制度です。

＜申請者数、採用者数及び採用率の推移（平成17年度～平成26年度）＞

